

お知らせ

# リストバンドの導入にあたって

医療安全管理室  
医療安全管理担当課長 古川恵子



医療安全の基本は名まへの確認であり、当院では患者さんにフルネームと生年月日を、言っていただくことを推進するポスターを掲示し、ご協力をお願いしております。

平成25年5月27日より、患者さんの誤認防止のため、入院患者さんや外来での手術を行う患者さんに、リストバンドを導入しています。

装着前に説明を行い、患者さんにフルネームと生年月日を名乗っていただき、記載内容を確認の上、手首(又は足首など)に装着いたします。

採血時や点滴、投薬、手術、検査などにおいて、医師・看護師・薬剤師・臨床検査技師・診療放射線技師など多くの

医療従事者が関わります。リストバンド装着の趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますよう宜しくお願いいたします。

## スタッフ紹介

院内で働くスタッフの  
紹介ボタンリレー!

東5階看護補助  
野中直美さん



### 1. どのような仕事をしていますか?

看護師さんの助手として患者様の身の回りのお世話や、入浴介助、食事介助やリハビリの送迎と仕事は様々な事があります。

### 2. 頑張っていることは 何ですか?

患者様を始めスタッフ皆様に元気な挨拶と笑顔を心がけ毎日大変な看護師の仕事のサポートを心掛けています。

### 3. 趣味・特技は何ですか?

バレー(インディアカ)で月に1回の試合にむけて週に2回老体にムチを打ちながら練習に行っています。体は疲れてもストレス発散ができ、練習後はスッキリです。

### 4. 自分の性格は?

老若男女、誰とでもコミュニケーションも取れ友人も沢山います。

### 5. これから挑戦したいことは何ですか?

仕事のレベルUPを計るために、介護士の資格取得に向け勉強に励んでいます。

### 6. 今、困っている事は?

仕事が忙しいわりには体重は減らず、少々肥満気味なので足腰に負担がきて困っています。

### 7. 最近、嬉しかった事は?

バレー(インディアカ)の試合で接戦の末、優勝ができ、新聞にでた事です。

### 8. 患者さんに何か一言お願いします。

快適に入院生活が送れる様に努力して頑張ります。

### 9. 次にどなたか紹介して下さい

患者様思いの優しく熱心な指導をして下さっているリハビリ担当の武田先生をご紹介します。

### 編集後記

今年度初めての、やはた病院ニュースということで、1ページ目に新任医師を紹介しております。赴任早々、日夜患者様のために頑張っています。これからどんどん暑くなりますが、皆さん水分をこまめに取り、夏を乗り切りましょう!なお、やはた病院ニュースは年4回発行しています。少しでも多くの方が手にとっていただくと幸いです。

# やはた病院 ニュース

市立八幡病院  
広報誌  
第31号

2013年6月15日発行 発行・編集:八幡病院広報委員会

## 新任医師の紹介

当院に新しい医師が赴任しました



内科 立和田 隆

内科の立和田 隆と申します。  
よろしくお願ひ致します。



内科 伊藤 光佑

平成20年度以来の後援者。呼吸器中心に内科全般も担当させて頂いてます。



内科 伊藤 千与

はじめまして。夏から内科外来診療でお世話になります。  
宜しくお願い致します。



循環器内科 岩垣 端礼

1つ1つ仕事を覚えていきます。  
よろしくお願い致します。



小児科 岡田 祥憲

たくさんの中児の患者さんへ元気に挨拶しよう  
がんばっていきます。



外科 久永 真

15年ぶりの北九州です。宜しくお願い致します。



外科 松本 彩

長崎から来ました。  
元気に頑張ります。よろしくお願い致します。



整形外科 田中 尚洋

長崎から参りました。濱さんかどんに  
早速はまっています。



整形外科 渡邊 航之助

長崎市出身で、北九州市に赴任するの初めです。  
よろしくお願い致します。



整形外科 上戸 康平

よろしくお願い致します



形成外科 福井 季代子

よい医療を提供できる所頑張りたいと思います。



救急科 田口 健蔵

5年ぶりに北九州にもついで参りました。  
北九州の救急医療のためにがんばります。





# 脱水について

内科 立和田 隆



暑い季節になり、脱水の患者さんが多くなってきました。特に高齢者では発見が遅れ、重症化し昏睡、死亡することもあります。今回は、脱水の早期発見、対処方法について簡単にお伝えします。



## 脱水をいち早く発見しよう!

- ・何となく元気がない
- ・脇の下などの皮膚が乾燥している
- ・口の中や唇が乾燥している
- ・嘔吐、めまい
- ・微熱、頭痛

上のような症状がみられた場合は、脱水の可能性があるので、水分摂取を心がけ、場合によっては、医療機関を受診するようにしましょう。



## 1日に必要な水分量とは?

食事からとれる水分量とは別に1日1000~1500ml程度、水分を摂取するようにしましょう。さらに、暑い夏場、風邪などで熱がある時、下痢をしている時はさらに水分を必要とします。ただし、腎臓や心臓が悪い方は水分制限が必要な場合があるので、かかりつけのお医者さんに確認して下さい。

高齢者の方は、のどの渇きを覚えにくいこともあり水分摂取量が少ないことが多いので、ぜひ1日のおおまかな水分摂取量をはかってみてください。

水分の補給がたりないと脱水症になってしまうんだ。



## 脱水を防ごう

- ・食事をきちんと摂取する。
- ・こまめに水分をとる。のどが渇かなくても、寝る前、起床時、運動前後、運動中、飲酒後は水分を摂取するようにする。
- ・水やお茶といった水分だけでなく、塩分も補給する。

日頃は、上記の事に気を付けて脱水を未然に防ぎましょう。

塩分補給については、例えば水と一緒に梅干しを摂取するのも一つの方法です。また脱水が疑われる時は、薬局などで経口補水液を購入して飲むのもよいでしょう。



写真:経口補水液

# 新放射線撮影システム

放射線科技師長 山下 三樹



X線写真といえばアナログ銀塩写真を思われるかもしれませんが実は20年ほど前からCR(コンピュータドラジオグラフィ)というデジタル画像が主流となっていて当院でもこれを使っています。

今回2つの撮影室とポータブル撮影でCRよりさらに進化したFPD(フラットパネルディテクタ)が導入されました。これは体に照射されたX線を受けたパネルのデジタル情報を直接コンピュータで計算して画像を作るものです。レーザー光線でいったん情報を読み取る必要のあるCRと比べると

- ・撮影してから画像が表示されるまでの時間が短い(CR:約50秒 FPD:2~3秒)
  - ・撮影に必要なX線の量が低い(FPDはCRに比べ部位により2割~5割ほど被曝低減可能)
- などの特徴があります。

救命救急センター・小児救急センターを併設する当院では画像を素早くかつ低被曝で医師に提供する必要があり、このFPDはそれらの要求を満たす非常に有用な機器であるといえます。

?!?

## 知っておきたい感染症・感染対策のはなし

No.9

### 腸管出血性大腸菌感染症

ICT委員会

今回は夏に流行しやすい腸管出血性大腸菌感染症のお話です。食物に付着した大腸菌が口から入ることで発病します。症状は下痢、腹痛と血便などで、重症になると死に至ることもあります。この菌は75℃1分間以上の加熱で死滅しますので、高温で焼くか煮ることで大丈夫です。夏バテ予防でスタミナをつけるため焼肉を食べる機会が増えるかもしれませんが、生肉は避けること、生肉を取る箸と食べる箸を区別するなどの注意が必要です。また汚染した手を介して感染する場合がありますのでトイレ後や調理時、食事の時などは忘れずに手洗いをしましょう。

75℃  
1分以上!

